2024年度(令和6年度)工業用水道事業の決算見込みの概要

1 業務状況

事項	2024年度 (令和6年度)	2023年度 (令和5年度)	増減
給 水 事 業 所 数	27 力所	27 力所	0 力所
配 水 量	89,575,931 ㎡ /年	88,331,728 m³/年	1,244,203 m³/年
一日平均配水量	245,414 m³/日	241,344 m³/日	4,070 ㎡/日

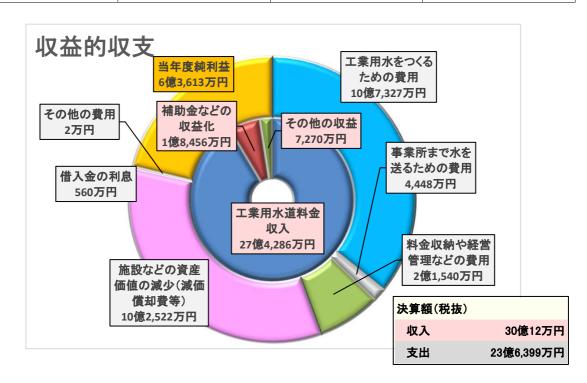
2 収益的収支(工業用水道料金の収納や工業用水の供給などに伴い発生する収入と支出)

本年度の経営収支状況について、事業収益は、給水収益が増加したものの、他会計負担金が減少したことなどにより、前年度と比較して、5,152万円(1.7%)減少し、30億12万円となりました。

一方、事業費用は、減価償却費や修繕費などが増加したことにより、前年度と比較して、4,863万円 (2.1%)増加し、23億6,399万円となり、前年度より1億15万円減の差引 6億3,613万円の当年度純利益を計上しました。

(税抜)

	т古		2024年度	2023年度	増減		
	事項		(令和6年度)	(令和5年度)	· 词 · 例		
収	益	的	収	入	30億12万円	30億5,164万円	△5,152万円
(うち	工業月	月水道	料金	収入)	(27億4,286万円)	(27億735万円)	(3,551万円)
収	益	的	支	出	23億6,399万円	23億1,536万円	4,863万円
	差		引		6億3,613万円	7億3,628万円	△1億15万円



3 資本的収支(工業用水道施設の建設・改良などにかかる収入と支出)

資本的収入は、国庫補助金により、1億4,946万円となりました。

資本的支出は、建設改良費や企業債償還金(借入金の返済金)などにより、20億6,439万円となりました。 資本的収入が資本的支出に不足する額は、19億1,493万円となり、積立金などで補てんしました。

また、資金残高は前年度と比較して、3億2,290万円減少し、86億1,542万円となりました。

(税込)

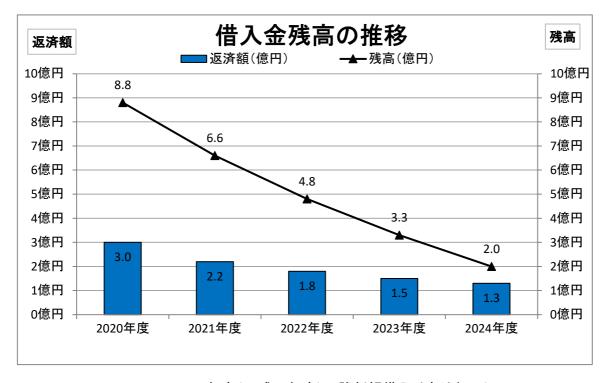
事項	2024年度	2023年度	増減
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(令和6年度)	和6年度) (令和5年度)	· 自 /哎.
資 本 的 収 入	1億4,946万円	1億4,112万円	834万円
うち国庫補助金	1億4,946万円	1億4,010万円	936万円
資本的支出	20億6,439万円	15億9,450万円	4億6,989万円
うち 建 設 改 良 費	15億3,715万円	14億4,210万円	9,505万円
うち企業債償還金	1億2,724万円	1億5,240万円	△2,516万円
差引	△19億1,493万円	△14億5,338万円	△4億6,155万円

4 建設改良工事の概況

本年度の主要な建設工事は、改良工事として14億7,673万円をもって配水管布設工事や中津原浄水場工水 2系南沈澱池機械設備取替工事などを行いました。

5 借入金の状況

借入金の残高は、前年度に比べて1億2,724万円(38.9%)減少し、1億9,990万円となりました。



※2003年度(平成15年度)以降新規借入はありません。

6 貸借対照表

(税抜)

資産の部		負債の部	
固定資産	195億1,389万円	固定負債	3億7,507万円
有形固定資産	115億595万円	企業債	1億1,491万円
無形固定資産	76億624万円	引当金	2億6,016万円
投資その他の資産	4億170万円	流動負債	9億5,876万円
流動資産	94億8,919万円	企業債	8,499万円
現金及び預金	91億6,420万円	未払金	8億5,682万円
未収金	3億2,208万円	引当金	1,695万円
前払費用	281万円	繰延収益	34億4,972万円
その他流動資産	10万円	長期前受金	34億4,972万円
		資本の部	
		資本金	208億5,863万円
		資本金	208億5,863万円
		剰余金	33億6,090万円
		資本剰余金	2億6,135万円
		利益剰余金	30億9,955万円
		(うち当年度純利益)	(6億3,613万円)
合 計	290億308万円	合 計	290億308万円

7 キャッシュ・フロー計算書

(税抜)

項 目	現金・預金の増減	
前年度末の現金・預金の残高	89億2,800万円	
業務活動によるキャッシュ・フロー		
(工業用水道料金の収納や工業用水の供給などに伴う現金・預金の収支)	15億4,144万円	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11億7,800万円	
(工業用水道施設の建設・改良などに伴う現金・預金の収支)	△11億7,000万円	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1億2,724万円	
(資金の調達や返済に伴う現金・預金の収支)	△1億2,724万円	
当年度末の現金・預金の残高	91億6,420万円	